

地域まちづくり計画各地区事業報告

～令和7年度事業版～



秦野市・秦野市自治会連合会

はじめに

令和3年4月にスタートした「総合計画はだの2030プラン」における「地域まちづくり計画」は、市民一人ひとりが地域に愛着を持ち、地域の個性や魅力を生かせるよう、市民と行政が協働、連携して取り組むものとして各地区まちづくり委員会における検討等を経て策定されました。

また、地域まちづくり計画の円滑な推進のため、市では新たに、各地区にまちづくりコーディネーターとして市内8館の公民館長を配置するとともに、各地区に「地域まちづくり計画推進交付金」を交付しています。

各地区においては、この交付金を活用し、地区の目指す姿に向けて、地域の特性や魅力を存分に生かし、「地域まちづくり計画」に掲げる活動や主な取り組みを実行しています。

本冊子は、各地区が取り組まれた様々な活動を広く知っていただきたく、5年目となる令和7年度の各地区の取り組みをまとめましたので、ご報告いたします。



目 次

1	地域まちづくり計画.....	- 1 -
(1)	計画の位置付け・役割	- 1 -
(2)	計画の意義等	- 1 -
①	地域づくりの指針	- 1 -
②	協働による地域づくり	- 1 -
(3)	地域区分	- 1 -
2	各地区まちづくり委員会名称.....	- 2 -
3	地域まちづくり計画を推進するために.....	- 2 -
(1)	地域まちづくりコーディネーター	- 2 -
(2)	地域まちづくり計画推進交付金	- 2 -
4	各地区の取組み.....	- 3 -
(1)	本町地区	- 3 -
(2)	南地区	- 5 -
(3)	東地区	- 7 -
(4)	北地区	- 8 -
(5)	大根地区	- 11 -
(6)	鶴巻地区	- 13 -
(7)	西地区	- 15 -
(8)	上地区	- 17 -

1 地域まちづくり計画

(1) 計画の位置付け・役割

地域まちづくり計画は、本市の都市像「水とみどりに生まれ誰もが輝く暮らしよい都市（まち）」の実現を図り、市民一人ひとりが地域に愛着を持ち、地域の個性や魅力を生かしたまちづくりを市民と行政が協働・連携して進めるための指針とするものです。

(2) 計画の意義等

① 地域づくりの指針

まちづくりの推進には、その主体となる地域住民が地域の特性や課題を把握し、まちづくりの必要性を認識するとともに、地域のまちづくりに対する考え方や方針を行政と共有することが大切です。

地域まちづくり計画は、市民一人ひとりがまちづくりの構成員としての認識に立ち、自助、共助の立場から、地域に根ざしたまちづくりに参加し実践していくための指針となるものです。

② 協働による地域づくり

地域まちづくり計画は、地区まちづくり委員会を中心とした市内8地区の地域まちづくり計画策定会議により検討、提案された計画案をもとに、地域の特性を踏まえつつ、市全体としての調和も考慮しながら作成されたものです。

この計画をもとに、地域と行政が共に目指す地域（まち）の姿に向かって持続的に行動し、地域が活性化することにより本市のまちづくりの発展につなげていきたいと考えています。

(3) 地域区分

それぞれの地域におけるまちづくりの課題等に対応するため、自然や歴史、文化等の視点から、市内8地区（本町、南、東、北、大根、鶴巻、西、上）ごとに定めます。

2 各地区まちづくり委員会名称

- ・本町地区きれいなまちづくり委員会
- ・南地区きれいな住みよい町づくり運動推進委員会
- ・東地区まちづくり運動実施委員会
- ・北地区まちづくり委員会
- ・大根地区新しい街づくり運動推進委員会
- ・鶴巻地区住んでよかったまちづくり協議会
- ・西地区住みよい町づくり運動推進委員会
- ・上地区みんなで住みよいまちづくり運動推進委員会

3 地域まちづくり計画を推進するために

(1) 地域まちづくりコーディネーター

市内8館の公民館長が地域まちづくりコーディネーターとなり、まちづくり委員会のメンバーと共に「地域まちづくり計画推進交付金」の活用方法の検討等を行い、地域と協働して地域まちづくり計画の推進に取り組んでいます。

(2) 地域まちづくり計画推進交付金

地域における住民自治の意識及び住民相互の連帯意識を高め、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域まちづくり計画の円滑な推進のため、市民によるまちづくり事業を実施する各地区のまちづくり委員会に対し、100万円を上限として交付金を交付しています。

4 各地区の取組み

(1) 本町地区

■目指す地域（まち）の姿（将来像）

活力とふれあいに満ちた、きれいで安全な暮らしよいまち

■地域づくりの基本目標

- ①にぎわいづくりによる活気あふれるまち
- ②地域活動や多世代交流が盛んで、多文化が共生するあたたかいまち
- ③みんなで子どもや高齢者、障害者を支えるまち
- ④子どもや高齢者の交通安全が確保されたまち
- ⑤安心して暮らせる災害に強く、治安のよいまち
- ⑥豊かな自然に囲まれ、歴史と伝統を感じるまち

■令和7年度の主な事業

- ・拠点環境整備・活用事業
- ・高齢者・子育て・教育活動の支援
- ・環境美化活動
- ・公民館との連携事業

■主な取組み内容

◇拠点「あつまる！本町交流館」の活用

- ・地元自治会、地区社協、学生団体E 4等の会議室としての利用のほか、「就労応援サロン」、「まちかど福祉相談室」を実施し、また、新たに「カラオケサロン」を始めるなど利用を推進しました。



交流館でカラオケを楽しむ



新たに看板が設置された「あつまる！本町交流館」



・「ママとキッズのほっとサロン」、「高齢者サロン」の開催

年2回（6月、11月）に、本町公民館において、「ママとキッズのほっとサロン」及び「高齢者サロン」を開催しました。6月の「ママとキッズのほっとサロン」では、こども園の先生による楽しい手遊び歌の披露や保健師による相談を行うなど、親子の交流の場を提供し、子育てを地域で支える取組を行いました。

・「本町寺子屋」の開催

8月に本町地区社会福祉協議会の主催で、本町公民館において、本町小学校及び末広小学校の児童を対象に「本町寺子屋」を開催しました。

本町中学校邦楽部による琴の演奏で始まった後、秦野曾屋高等学校卓球部の協力により卓球を楽しんだほか、秦野民謡の紙芝居や折り紙のそれぞれのコーナーに分かれて楽しく遊び、伝統文化の学びの場の創出とともにコミュニティの推進に取り組みました。

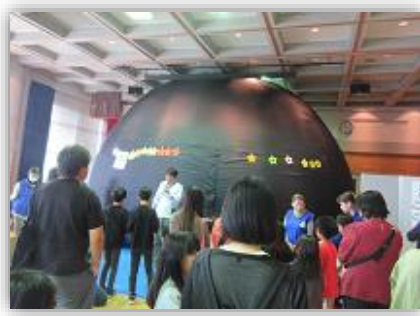
◇公民館との連携事業

・「はだの☆みんなでプラネタリウム」の開催

6月に、移動プラネタリウムを開催し、星空や宇宙の解説のほか「地球こま」や「星座カード」の手作りワークショップを行い、障害などで星空を見ることが難しい方も参加いただき、お互いが出会い・つながる場を目指しました。



ママとキッズのほっとサロン



プラネタリウムを楽しみに集まる



世代を超え学び楽しむ寺子屋



高校生と卓球を楽しむ子供たち

(2) 南地区

■目指す地域（まち）の姿(将来像)

豊かな水と緑に囲まれ、素晴らしい環境で誰もが住んでみたいと思うまち

■地域づくりの基本目標

- ①交通安全、防犯、防災対策による安全で安心して暮らせるまち
- ②ふれあいやいたわりによる、生きがいを持って暮らせるまち
- ③安心して子育てができ、子どもたちが心豊かに成長できるまち
- ④恵まれた自然を生かした観光地、名所づくりによる活力に満ちたまち
- ⑤地区にかかわる様々な人々が交流するあたたかいまち

■令和7年度の主な事業

- ・地域づくり関係団体研修
- ・震生湖周辺の美化環境整備
- ・南地区湧水地帯を保全する部会
- ・関係団体合同による研修会の実施
- ・多様な団体によるまちづくり活動の活性化支援
- ・室川部会環境整備と魅力の発信
- ・地区組織活動支援



地域防災力の向上を目指して

■主な取り組み内容

◇地域づくり関係団体研修

多発する荒天による災害や南海トラフ地震などに対する備えと、地域の美観や自然環境整備の推進への知識の醸成を図るため、2月に、各団体の代表者約30名が県総合防災センター及び花菜ガーデンを訪れ、研修会を実施しました。



消火器の使い方を学ぶ

◇地区組織活動支援

役員の帰属意識を高めるとともに、行事や災害時などの際に参加者や地域の方々に自治会役員や民生委員児童委員が一目で分かるよう、揃いのジャンパーを約110着、新調しました。

行事などでお手伝いくださる方々にも着用していただくなどの活用を予定しています。



緑色のジャンパー

◇子ども会活動支援

・JAL折り紙ヒコーキ教室

11月に、折り紙ヒコーキ協会の協力により、空の素晴らしさに触れるとともに、折り紙で作った飛行機を飛ばすなど、地球環境の未来について考える教室を開催しました。



もっと飛べ飛行機

・モルック体験教室

年齢や体力差に関係なく楽しめる究極のバリアフリースポーツの「モルック」を通じて、子ども会の活性化やコミュニケーション力の向上に取り組みました。



モルックに初挑戦

◇震生湖周辺美化清掃活動ゴミ拾いと草刈り（年3回実施）

訪れる人たちに気持ちよく散策していただけるように、地域で活動する団体と合同で震生湖周辺の環境整備に取り組みました。



スイセンの開花が待ち遠しい



地域力できれいに

◇南地区湧水地帯を保全する部会

2月に、湧水地帯水質検査（兵庫の泉・龍蛇の泉）を行い、貴重な自然資源である湧水地帯の保全活動を実施しました。

◇室川部会環境整備と魅力の発信

・室川の環境整備

8月に、室川部会と秦野のホテルを守る会合同で、白笹稻荷神社一貫田湧水周辺「たまゆらの泉」に、ホテル乱舞を進める会の報告会を開催しました。



いまいずみホテル公園清掃を終えて

これまでのホテルの取組を報告



・室川通信第4号発行 『湧水の室川・水車の記録を残したい』

相中留因記恩から・今泉上町芦沢で稼働していた水車の記録をもとに、2月に発行しました。



室川の情報が満載

南公民館内に設置された室川部会専用の掲示板



(3) 東地区

■目指す地域（まち）の姿(将来像)

豊かな自然と歴史や文化が調和した住みよいまち

■地域づくりの基本目標

- ①住民が誇りにできる丹沢や大山、湧水等の豊かな自然と、史跡や文化財等の遺産を積極的に生かしたまちづくり
- ②豊かな自然に囲まれたゆとりある環境を大切にしたい、安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり
- ③日常のふれあいや共同活動を通して生み出される連帯感や信頼関係を基礎に、自分たちが住んでいる地域をみんなの力で支えあい、住みよくしていく心の絆を大切にするまちづくり

■令和7年度の主な事業

- ・自然・史跡・文化財を活用したまちづくり活動
- ・交通安全・防災・防犯活動
- ・地域のふれあい・こころの絆の場の提供活動

■主な取組み内容

◇実朝まつりの開催

- ・11月に、東地区最大の行事であり、鎌倉幕府3代将軍・源実朝公の供養をする「第38回実朝まつり」を開催しました。
- ・実朝公が歌人でもあったことから当日は献吟のほか、献茶が行われる等、実朝公の人柄が偲ばれる法要を行いました。
- ・東公民館での活動団体の発表や獅子舞や神輿、稚児武者行列等、多くの地域住民の協力により、地域愛を醸成し、地域密着のお祭りに取り組みました。
- ・交通誘導や会場設営・管理等を一部委託し、将来の継続性を見据えるとともに、安全を強化し、安心・安全で円滑な運営に取り組みました。



源実朝公御首塚での法要



にぎわう中丸広場



稚児武者行列の頼もしい練り歩き



金剛寺に凛々しい姿が並ぶ



活気あふれる神輿担ぎ



獅子舞に心躍る



威勢がいい獅子舞



こちらの二次元コード又はURL から
「第38回実朝まつり」の
YouTube 動画をご視聴できます

<https://youtu.be/AqkAtw-oFuU>

(4) 北地区

■目指す地域（まち）の姿(将来像)

豊かで美しい自然と共生し、地域の活力があるまち

■地域づくりの基本目標

- ①誰もが安全で安心して暮らし続けられるまち
- ②新東名高速道路を中心に利便性の高い活力あるまち
- ③みどり豊かな自然景観の適切な保全と活用による魅力あるまち
- ④住民のふれあいと交流が盛んで、次世代へとつながれるまち

■令和7年度の主な事業

- ・安全安心な暮らしの推進
- ・自然・景観の保全
- ・ふれあい活動

■主な取組み内容

◇防災用品の整備

3年前から3か年計画で始めた取組として、8月に、LED懐中電灯やバンドエイド、ハンドジェル等の防災備品を購入し、各家庭に配付することで、地域の防災力の強化に取り組みました。

◇水無川遊歩道の花植え

年2回（5月、11月）、令和4年から取り組んでいる水無川左岸（平和橋～堀戸大橋）にある8箇所の花壇に、パンジーとビオラの300株を植え、除草するなど、交流を深めながら、自然・景観の保全に取り組みました。



植え替え前の土の耕し



地域の美観を支える

◇地域コミュニティマップの設置

北地区まちづくり5か年計画の4年目として、今年度は、7月に戸川地区に地域コミュニティマップを設置しました。名所・行政施設・商店・公園等を掲載し、北地区の風光明媚な街を紹介しています。



北地区の魅力が満載

◇芸能まつりの開催

11月に、北地区独自の祭で、今回が14回目となる芸能祭を開催しました。タップダンス・大正琴・尺八・詩吟・カラオケ・伝統芸能（秦野ささら踊り等）の演目が披露され、伝統文化を大切にしつつ、地域交流に取り組みました。

【参考】「相模ささら踊り」

旧相模国では江戸時代から伝わる、竹製の楽器「ササラ」と小太鼓を伴奏に、女性たちが輪になって踊る伝統的な盆踊りです。明治7年以後相次いだ盆踊り禁止令や大正12年の関東大震災の影響によって大正時代の末には一度途絶えてしまいました。

秦野では、北地区で踊られていましたが、他の地域同様大正時代の末には踊られなくなったそうです。その後、昭和51年に有志の方により「秦野ささら踊り保存会」がつくられ復興し、翌年市の無形文化財として指定されました。

◇クリスマス会の開催

12月に、北幼稚園児とその兄弟姉妹、保護者を対象に、令和7年度で4回目となる「クリスマス会」を開催しました。クイズ、ゲーム、サンタさんからのプレゼントなどの楽しい企画により、子育て世代をはじめ、地域のふれあいづくりに取り組みました。



優雅な伝統の舞「ささら踊り」



サンタさんとの楽しいひととき

(5) 大根地区

■目指す地域（まち）の姿(将来像)

安全・安心・清々しいやさしいまち

■地域づくりの基本目標

- ①自然を大切にするまち
- ②子ども、高齢者、社会的弱者の誰もが快適で、安全な生活環境づくりへ努力するまち
- ③いやしの場づくりへ努力するまち
- ④人間関係を豊かにするまち
- ⑤思いやりとやさしさを持つ、元気な子どもを育てるまち

■令和7年度の主な事業

- ・「みんなの食堂☆ラパニス」活動の支援
- ・ふれあい動物園
- ・オープンキッズランド
- ・ひろはたこども園及び大根小学校、大根中学校のボランティア活動支援
- ・新年凧あげ大会



おおねふれあい館

■主な取組み内容

◇こども食堂「みんなの食堂☆ラパニス」の支援

こども食堂「みんなの食堂☆ラパニス」（秦野精華園内、社会福祉法人かながわ共同会秦野精華園・みんなの食堂☆広畑・大根地区新しい街づくり運動推進委員会が協力運営）の光熱水費等の費用を助成し、毎週水曜日に朝食、第3火曜日に夕食を提供し、地域の子どもの食生活の充実に取り組みました。



楽しいひととき



Xmas メニュー

◇「ふれあい動物村」及び「オープンキッズランド」の実施

10月の「第33回大根ふれあいまつり」において、ひよこやうさぎ等に触れることができる「ふれあい動物村」や「オープンキッズランド」を実施しました。

また、抽選会では、障害のある子供たちが当選者を発表したほか、今年度は、新たに東海大学生のボランティアの協力も得て、地域交流、多世代の交流に取り組みました。



キッズランドを楽しみに待つ



大人気のひよこ



盛り上がる抽選会

◇こども園・小学校・中学校のボランティア活動支援

ひろはたこども園の樹木及び植栽や大根小学校の花壇の花植え等のボランティア活動を支援し、地域の環境美化に取り組みました。



剪定された木の前で

◇新年凧あげ大会の実施

1月に大根小学校の校庭において、「親子で遊ぼう凧づくり」を開催しました。青少年指導員の支援のもと、つくった凧は、天高く揚げることができました。また、地元農家さんの協力による焼き芋のキッチンカーの出店など運営を工夫し、季節行事の継承とともに地域交流に取り組みました。



天高く舞う凧

◇事務局機能の整備

おおねふれあい館の照明器具をLED灯に交換し、利用者からも「明るくなった」との喜びの声があり、活動がより充実したものとなりました。



明るくより快適に

(6) 鶴巻地区

■目指す地域（まち）の姿(将来像)

水と緑と眺めを楽しめる、人にやさしいにぎわいのあるまち

■地域づくりの基本目標

- ①温泉を楽しめるにぎわいと活力のあるまち
- ②安全で安心して暮らせる人にやさしいまち
- ③歴史、文化、環境を大切にし、景観を楽しめるまち
- ④人との交流を深め、互いに助けあうまち

■令和7年度の主な事業

- ・ほっとワークつるまきの運営支援
- ・みんなのての運営支援
- ・つどいの場 きらくの運営支援
- ・あじさい遊歩道の整備
- ・桜植樹



つどいの場 きらく ほっとワークつるまき みんなのて

■主な取り組み内容

◇地区拠点の活用・支援

- ・みんなのて「クラシックライブ」の開催

今年度で5回目となるクラシックライブを4月に開催し、約100人の来場者が訪れました。地元の中学生とのコラボレーションもあり、子供も大人も世代を超えて、音楽でつながり、本格的なクラシックコンサートを楽しみ、多世代交流に取り組むことができました。

- ・ちっちゃなて「クリスマスコンサート」の開催

12月に、鶴巻公民館にて多世代イベントのクリスマスコンサートを開きました。外部よりピッコリーニさんというプロの楽器演奏のボランティアチームを招き、サンタクロースも登場しましたが、小さな子供たちはサンタが怖くて大泣き。それを見て笑う大人たち。大人も子供も一緒に楽しい時間を過ごしました。



サンタさんと一緒に



気軽に楽しめるコンサート

・きらく学習室夏休みこども体験教室（ザリガニ釣り、こども麻雀教室）

7月に、高齢者が集う「つどいの場きらく」付近で、地域の子供たちに学習支援を行う「きらく学習室」が、夏休みの企画として、ザリガニ釣りやこども麻雀教室を開催しました。子供たちは、日頃、体験できない取組みに大喜びし、地域交流及び子育て支援に取り組みました。



夏休み特別企画



ザリガニ釣りに挑戦



熱心に説明を聞く子どもたち

◇「つるまきあじさい遊歩道」の整備

善波川と大根川沿いの2.7キロメートルに及ぶ遊歩道の草刈り等を4グループで毎月1回定期的に行い、あじさい遊歩道の景観の維持に取り組みました。また、6月には、「つるまきあじさい遊歩道まつり」を開催し、当日は、大根川ポンプ場の見学も実施するなど、地域交流と地域の歴史の理解促進に取り組みました。



鶴巻親水遊歩道の会



大根川あじさいの会



善波川あじさいロードの会



鶴巻あじさい散歩道の会

◇「新春たこあげ大会」の開催

1月に、毎年恒例のたこあげ大会をおおね公園で開催し、大勢の参加があり、今では珍しくなった正月の伝統行事の体験や地域交流に取り組みました。



空高く舞い上がれ



親子で凧づくり

(7) 西地区

■目指す地域（まち）の姿(将来像)

- ・豊かな自然環境を維持し、四季を感じることができる美しい町並みのあるまち
- ・個性豊かで元気とにぎわいのあるまち

■地域づくりの基本目標

- ①まちの魅力、にぎわいの創出
- ②道路・交通環境の整備
- ③防災・防犯・安全の強化
- ④教育・文化・福祉の拡充、交流の促進
- ⑤農林業の振興

■令和7度の主な事業

- ・花の植え付け
- ・手作りベンチの設置
- ・頭高山の整備
- ・公園等の環境美化対策の実施

■主な取り組み内容

◇頭高山に野鳥看板を設置

9月に、頭高山に野鳥の看板を設置し、身近にいる野鳥を学ぶ環境づくりと地域の魅力づくりに取り組みました。また、看板の同内容のポスターを公民館や小・中学校にも配布し、掲示することで、子供たちの地域への理解促進に取り組みました。



頭高山で野鳥を探そう



トイレ壁面に看板設置

◇花の植え付け

11月から12月にかけて、地区内の各幼稚園や小・中学校に、先生や父兄、児童と一緒に冬の代表的な花であるパンジーとビオラを植えました。

また、老人いこいの家ほりかわ荘や西公民館第2駐車場にも同様に植え付けを行い、環境美化に取り組みました。



みんなで一緒に花植え

◇環境美化対策用備品の購入

11月に、小型チェンソー及びヘッジトリマーを各5台購入し、頭高山をはじめ、公園等の環境美化活動に役立つように備品の充実を図りました。



新たに購入したチェンソー

◇頭高山に河津桜を植樹

2月に、頭高山の山頂に新たに河津桜を5本植樹し、地域資源を活用した更なる魅力づくりの充実に取り組みました。

また、市と協働して、定期的に頭高山の樹木伐採や除草等を行い、丹沢や足柄平野が見渡せる程、見晴らしが良くなりました。



桜の開花が待ち遠しい



鳥獣対策された桜

◇手づくりベンチを設置

高齢者が座って休めるようにとの意見をもとに、3月に、手づくりベンチを作成し、戸川公園や老人いこいの家ほりかわ荘に、設置しました。



木のぬくもりのあるベンチ

(8) 上地区

■目指す地域（まち）の姿(将来像)

豊かな自然と交通環境との調和、人・まち・資源を生かした魅力と活力あるまち

■地域づくりの基本目標

- ①多様な介護予防運動に取り組む笑顔があふれるまち
- ②豊かな自然や地域資源を利活用した新しい地域おこしを目指すまち
- ③里地里山の豊かな自然と共生し、住む喜びを感じるまち
- ④地域の生活にあった交通手段を維持し、便利で暮らしよいまち

■令和7度の主な事業

- ・富士登山支援活動
- ・非行防止支援活動
- ・かみみらい会議
- ・農園ハイク
- ・いなか暮らしふるさと塾
- ・ハイキングコース整備
- ・納涼大会
- ・防災対策

■主な取り組み内容

◇秦野市制70周年記念大相撲秦野場所

4月に、メタックス体育館はだので行われ、バスを利用して、上小学校の児童が参加し、地域と学校と連携した子どもの学びを支援しました。



上っ子の入場



土俵を前に並ぶ

◇農園ハイクの開催

6月に、市とJAはだのと連携して、美しい自然の中をハイキングしつつ、野菜などの収穫体験ができる「農園ハイク」を開催しました。過去最高の来場者が訪れ、極早生モモ、ジャガイモ、ニンジン等の様々な野菜の中から、購入チケットと引き換えに選べる工夫をし、上地区の魅力発信と参加者と地元農家との交流に取り組みました。



受付準備も万端



参加者の行列



収穫体験

◇富士登山支援活動

7月に、上小学校6年生を対象に、上地区青少年育成部会による富士登山が行われ、児童10人、大人18人が参加して、山頂を目指して登頂し、伝統事業の活動を支援しました。



この絆は富士山より高く

◇納涼大会

8月に納涼大会を開催し、地区ごとの太鼓連の演奏や上幼稚園の園児による「アンパンマン音頭」の踊り、花火等が披露され、様々な模擬店を出店し、季節行事の継承と多世代にわたる地域交流の充実に取り組みました。



この夏1番の思い出

◇いなか暮らし体験ツアー

11月に、田舎暮らし体験ツアーを開催し、上地区の豊かな自然を感じながら、里山をのんびり散策するイベントとして移住者お試し住宅の見学や薪割り、ハンモック体験など、市と連携して事業を開催しました。



薪割り体験



クリスマスリースづくり



木のブランコ

◇生き物の里の維持管理活動

柳川地区にある生き物の里の草刈作業等を行い、地域資源の維持管理に取り組みました。

◇非行化防止事業

3月に、上小学校の児童を対象に、神奈川県警察本部に視察研修に行き、非行化防止の説明など、青少年の健全な育成の支援に取り組みました。



初めての県警本部

地域まちづくり計画各地区事業報告
令和8年3月発行
秦野市・秦野市自治会連合会事務局
(秦野市くらし安心部市民活動支援課)
〒257-8501
秦野市桜町一丁目3番2号
電話 0463-82-5118 (直通)